

ティーチング・ポートフォリオ (TP) 概要

令和6年9月11日

学部・学科・氏名	看護学部 看護学科 上田修代
教育理念	当大学の3つの教育理念に沿って、看護の倫理的態度を身につけ、柔軟な寛い心で、他者と共に働き、感謝の気持ちを持つ人を育てることである。更に、専門分野である公衆衛生看護学の教育理念は(1)地域社会全体の健康の向上に寄与する保健師を育成する(2)すべての公衆衛生看護実践の意思決定の過程を言語化できる学生を育成する(3)公平で公正な態度で看護実践に臨む学生を育成するである。
教育の責任	1) 学生全体への責任 看護学科の科目として2年生に「保健医療福祉行政論」を教授している。 2) 保健師課程学生への責任 保健師課程3年生に保健師課程必修科目として「公衆衛生看護支援技術演習」を教授する。保健師課程学生に保健師のロールモデルとして、倫理観や行動規範を示す役割も担っている。
教育の方法・成果	保健医療福祉行政論では、看護学部2年生を対象に看護に関わる法律や制度を教授している。アクティブラーニングの方法を取り入れ、授業では高齢者ボランティアに講和をいただいた。学生は、そこで地域包括ケアシステムで重要な箇所である「互助」の場面がどこにあるのかインタビューをした。これは私が教育理念に掲げた(1)地域社会全体の健康の向上に寄与できる保健師を育成する、に向かった教授内容である。学生は、住民同士が支えあい、健康の向上に向かっていく住民の実際の姿と、その意味を学ぶことにもつながっていたと考える。また別の回の授業のリフレクションペーパーには、「制度ができた時に何が起こっていたのか知る必要がある」「自分で調べて、今後どのような支援が必要であるのか自分で考えることが大切」と記載があり、学生がその制度ができた背景を知ろうとすることにより、学生自身の学びを促進することにつながったと感じた。
改善	「保健医療福祉行政論」のリフレクションペーパーの記載内容に、やはり制度や法律は覚えにくいとの記載もあった。そのため、2024年度は、授業内容の理解が進むように復習問題集を作成している。今後も、学生の学修状況にあわせた、問題の提示方法やアクティブラーニングの活用などを行っていきたい。
目標	学生が保健師資格を得たのち、次世代の保健師活動を担う保健師として実務に就くものを育成する。また、大学の一員として地域住民の健康を高めることに寄与していく。
TPを作成して感じたこと	大学の教育理念、ディプロマシーに基づき、私がどのような学生への教育の責任を果たすのかという具体的な役割を焦点化することができた。担当科目の教授内容やエビデンス資料、学生の反応や評価等を整理し振り返り、私自身が次に行う必要がある課題を見つけることができた。